ゆめ木風2　放課後等デイサービス事業所自己評価表（公表）

公表日：令和　6年　3月　15日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	1	・訓練に集中しやすいようにパーテーションを用いたり、机や棚の配置を工夫している。 ・学習など集中しやすい環境を整えている。 ・一部仕切りなどを使い、個別でも集中できる環境を作っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			・職員配置数は適切に配置されている。 ・規定人数ではあるが利用児の状態によって多めの配置が必要だと感じる（外出行事など）
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	1	・トイレには手すりがあるがロビーなど無いところもある。 ・手すりが必要な場所を増やすとより良い支援に繋がる。 ・ガラスの机など配慮が必要なものがある。 ・児童に分かり易い視覚的な表示を用意している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1		・日々の申し送りやフロア会議等を用いて職員が参画している。 ・フロア会議に参加して意見を出し合い、業務改善に務めている。 ・情報共有できるファイルやノートを活用している。 ・職員がそれぞれ業務改善を考えて常に振り返りを行なっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・保護者からの話をよく聞き、意見や要望に対して改善に努めている。 ・毎年実施し、職員全体で意見を把握し業務改善に繋げている。 ・職員が目を通し今後の支援に繋げるようにしている。 ・結果を反映できるように改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		・ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・研修に参加して知識を高めている。 ・定期的に勉強会を行い、支援向上に努めている。 ・月に一回はリモートでの勉強会に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・フロア会議にて職員間で意見を出し合い作成している。 ・保護者の面談やフロア会議を行い、計画を作成している。 ・子どもの特性に合わせて作成している。 ・細かく情報を共有し、課題を把握した上で作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			・子どもの特性に合わせたものを使うよう努めている。 ・アセスメントツールを使用して把握している。 ・日々の記録を参考にしながら把握している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・フロア会議などで話し合いを密に行っている。 ・職員が揃っている日に話し合いその都度検討している。 ・職員で協力しながら実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・子どもの成長に合わせてその都度工夫している。 ・季節感を感じられるものや新規の外出先などエ夫している。 ・子どもの様子を見て、話し合いながら活動プログラムを立てている。その度に見直し修正している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		・イベントや催しを通して支援を行なっている。 ・その状況ならではの利点を活かし、計画・実施している。 ・休日や長期休暇は個別+集団での活動を行なっている。 ・休日には平日にできない集団活動を主に行っている。 ・午前中に学習時間、午後から運動など計画を立てて支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・その子に今必要な支援が何かを考えながら支援し計画している。 ・子どもの状況に応じて個別・集団での計画を作成している。 ・子どもたちの合った計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		・朝礼を行い、その日利用する子どもたちに対して気を付けることを確認している。その後各フロアでも情報共有を通して支援に繋げている。 ・送迎の兼ね合いもあり全員での打ち合わせが難しい日もあるが、なるべく話すようにしている。 ・当日休みの職員には共有ノートを活用し周知の徹底を心がけている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		・業務終了後、振り返りや報告を行い全体での共有を心がけている。 ・職員間でその日の出来事を話し合うことはあるが、打ち合わせは行っていない。 ・送迎などで遅くなり話すことが出来ない事もあるが大切なことは伝えたり共有している。 ・時間の都合で難しい場合は翌日の朝礼で共有を心がけている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・支援終了後、毎回記録を行う。 ・支援経過表に記録して検証および改善に繋げている。 ・業務日誌、経過記録で利用児全員の記録を徹底している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・半年に一回行い、計画の見直しも行っている。 ・定期的にモニタリングを行っている。 ・日々の中での成長等に対して見直しを行う。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	1		・個別支援と集団支援などその時の療育に応じて組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・その子の様子を明確に伝えられる職員を検討して判断している。 ・児発管が参加しできない場合は他職員が参加している。 ・適した職員が参画できない場合があってもしっかりとした情報共有を行なっている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・保護者を通じて学校との情報共有を行っている。 ・学校からの書類など全員で確認している。 ・必要に応じて学校とも連絡を取り合い情報の共有、連絡調整を適切に行っている。 ・その都度、職員間での連絡ノート等を用いて情報共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・該当児はいないが、もし受け入れる場合は主治医など連絡体制を徹底を心がける。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2		・保護者を通じて気になることは幼稚園等にも尋ねる等、情報収集を密に行い職員全体での共有に務めている。 ・未就学児の頃から利用している子は情報共有できているが、就学以後からの児童に関しては難しい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				・現在、該当児はいないが移行する場合の情報提供はしっかりと行うよう心がける。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			・定期的に行われる研修に参加している。 ・専門機関と連携して助言を受けている。 ・必要に応じて質問を行い、助言を求めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	・近年ではコロナ、インフルエンザを心配することが多く交流自体が難しかった。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		1	6	・積極的に参加したい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・電話での連絡や連絡帳の活用などで様子を逐一伝えている。 ・送迎時に常に保護者と会話して情報共有に務めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4		・保護者と会話する上で相談しやすい話し方や雰囲気を心掛けている。 ・保護者会を行ったり、個別対応をしている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・契約時に必ず説明している。 ・説明など行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・保護者の気持ちに寄り添った支援を行うよう心掛けている。自分で対応できない時は他職員から助言をもらう。 ・気持ちに寄り添いながら安心して話してもらえるように務めている。 ・相談内容に応じて事業所内外との連携もとりながら対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			・年に一回、保護者会を開催している。 ・保護者会にて家族間や保護者同士の連携を支援している。保護者通しのつながりを後押ししている。

	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・苦情があった時は迅速に対応するように努めている。 ・その状況に適した職員が迅速かつ適切に対応している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・月一回、ゆめ通信を配布し、活動報告や翌日の予定を伝えている。 ・ゆめ通信の中で行事や支援の様子を発信している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	7			・保管方法など取り扱いには十分注意している。 ・資料など情報共有が終われば直に破棄している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・日々子どもたちと接し信頼関係を作り意思疎通がとれるように努めている。 ・特性や状況に合わせた伝達方法に配慮している。 ・絵カードなど用いて行っている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	・現在できていない。 ・機会があれば今後は地域も含めた運営を図っていきたい。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	1	・職員には周知しているが、保護者にはできていない。 ・それぞれのマニュアルを策定して職員に周知している。 ・マニュアルを策定し、職員間の周知は出来ているが保護者への周知をもう少し強化していきたい。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・毎月一度は必要な訓練を行なっている。 ・月ごとに様々な想定の訓練を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・虐待防止の研修を受け半年に一回、虐待防止委員会が開かれている。 ・年に何回か研修および勉強会を行っている。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2		・これまで実行しなければならなかった事はないが、必要な場合は説明、了承を得た上で計画に落とし込む。 ・現在該当児はいないが、もし必要があると判断した場合は手順を踏んだ上でしっかりと記載を行う。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		・保護者からはアレルギー調査票を必ず提出してもらっている。 ・医師の調査票で確認し、正しく対応している。 ・医師からの診断書がない場合でも保護者から食べ物アレルギーかも…と話があった児童には該当の食べ物は控えている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		・ヒヤリハットを作成して共有している。 ・発生時に必ず作成を心掛けている。 ・事業所内での共有を心がけている。